

# 大尾神社及び護皇神社 護持資金のお願い

奈良時代、神護景雲三年（七六九）、僧道鏡が朝廷において謀略を巡らせ、天皇位を得ようと画策しましたが、宇佐八幡大神様は皇統護持、国体擁護の御神意を示され、都より差し向けられた、和氣清麻呂公に御託宣を下され、僧道鏡の野望を阻止して、皇位を守護し奉ったのであります。これが世に言う「道鏡事件」であります。

当時、和氣清麻呂公が勅使として宇佐神宮に赴かれ、八幡大神様から御託宣を授けられた聖地が、この大尾山に鎮座する「大尾神社」であり、同様に和氣清麻呂公の御偉業を敬仰して奉祀されたのが「護皇神社」であります。

令和元年（二〇一九）は、新帝陛下御即位慶祝の秋であり、八幡大神様が皇統護持の御託宣を、和氣清麻呂公に授けられてより一二五〇年目の佳節であることから、この奉祀記念事業として、大尾神社及び護皇神社の社殿補修、鳥居その他工作物塗替、参道舗装及び駐車場新設等を多くの御奉賛を得て実施致しました。

将に、宇佐八幡大神様が悠久の歴史とともに示された、皇位擁護の象徴とも云うべき大尾神社・護皇神社の御神威を、この御皇室の慶事を期して、さらなる発揚を図ることに致しました。

つきましては、引続き境内整備の御浄財（維持資金）を左記の通り募集し、より多くの参拝者の利便向上を図り、以て神社護持と和氣公の遺徳を永く顕彰いたしたく存じますので、何卒、御参拝の志篤き御崇敬各位には、右趣旨御賢察の上、維持資金の御寄進を賜りますよう、お願い申し上げます。

宇佐神宮宮司 小野 崇之

御参拝・御崇敬奉賛者 各位

記

## 一、寄付金について

（維持資金）一口・三〇〇〇円からお願い

申し上げます。（少額でもお取扱い致します。）

尚、参万円以上の献納者は、御芳名を大尾神社境内（別掲の通り）に掲げ顕彰します。

大尾神社境内（御芳名掲示板）

